

5 - 2 . 白根方面骨格幹線バス(国道 8 号) を主軸とするバス利用サービスの向上

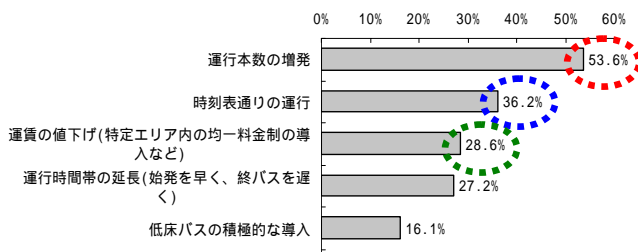


プロジェクトの概要

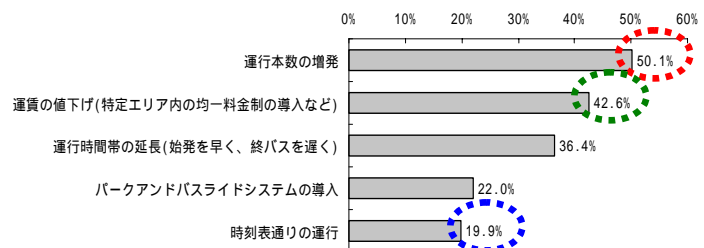
- ◆ 軌道系の公共交通がなく、バスが主要な公共交通となっている白根方面について、公共交通のサービス水準の向上に重点的に取り組むため、検討協議会を設け、関係者の連携のもとに取組みを推進します。
- ◆ 検討協議会では、利用者のアンケート結果を踏まえ、ボトルネック交差点の混雑緩和やバス待ち環境の改善、総合交通ターミナルの導入検討を行うとともに、区民を対象としたバス利用に関する啓発活動を展開します。
- ◆ さらに、運行本数の充実や運賃負担の軽減など事業者の自助努力だけでは改善できない事業運営上の課題や、通勤・通学時の定時性確保を目的に国道 8 号バス路線を補完する高速バス社会実験を実施します。

〔国道 8 号沿線のバスに関する要望（H 1 9 年）アンケート結果〕

・バス利用者からの改善要望



・マイカー利用者からの改善要望

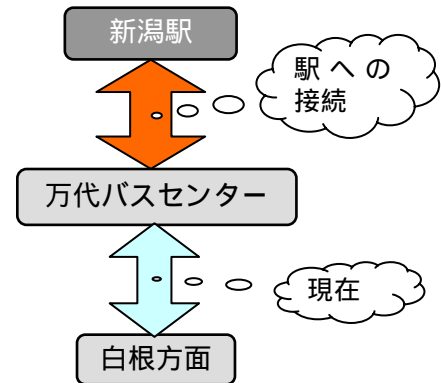


(1) バス運行サービスの向上

鉄道駅などの結節機能の強化

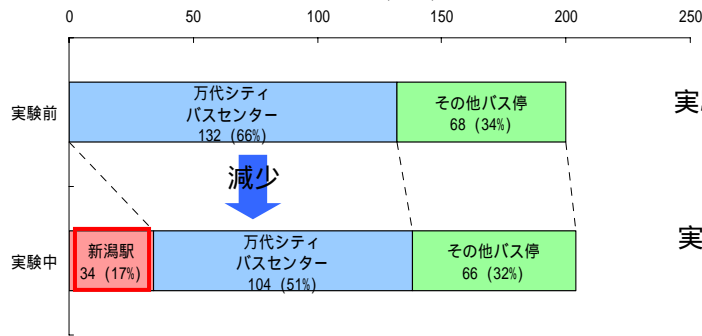
現在、バスセンター止まりで新潟駅との乗り継ぎが不便になっている白根線を新潟駅に接続するとともに、高速道路やバイパスから新潟駅南口に接続する速達性を重視した路線の検討を進めます。

〔新潟駅接続イメージ図〕



〔白根線急行バスを対象とした新潟駅接続社会実験の結果〕

・新潟駅 潟東営業所間の乗車数内訳



()内はシェア -

実験前：H18年9月第3週平日平均 (旧9便)

実験中：H18年10月、11月、12月、
H19年1月第3週平日平均 (9便)

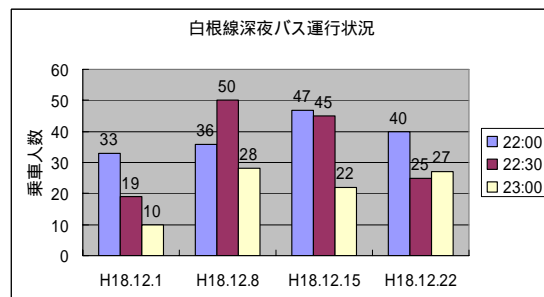
H19.4月以降本格運行

運行時間の拡大

平成18年に実施した忘年会シーズン中の深夜バス運行を19年以降も引き続き継続するとともに、通年的な運行実現に向けて、バス事業者や飲食店関係者などとの連携を図り、PR活動や運行計画の検討を進めていきます。

また、利用状況の推移を見ながら、今後さらなる運行時間の延長についても検討を進めます。

〔深夜バス利用状況 (H18.12.1~H18.12.22)〕



〔深夜バス運行広報ポスター(H18)〕



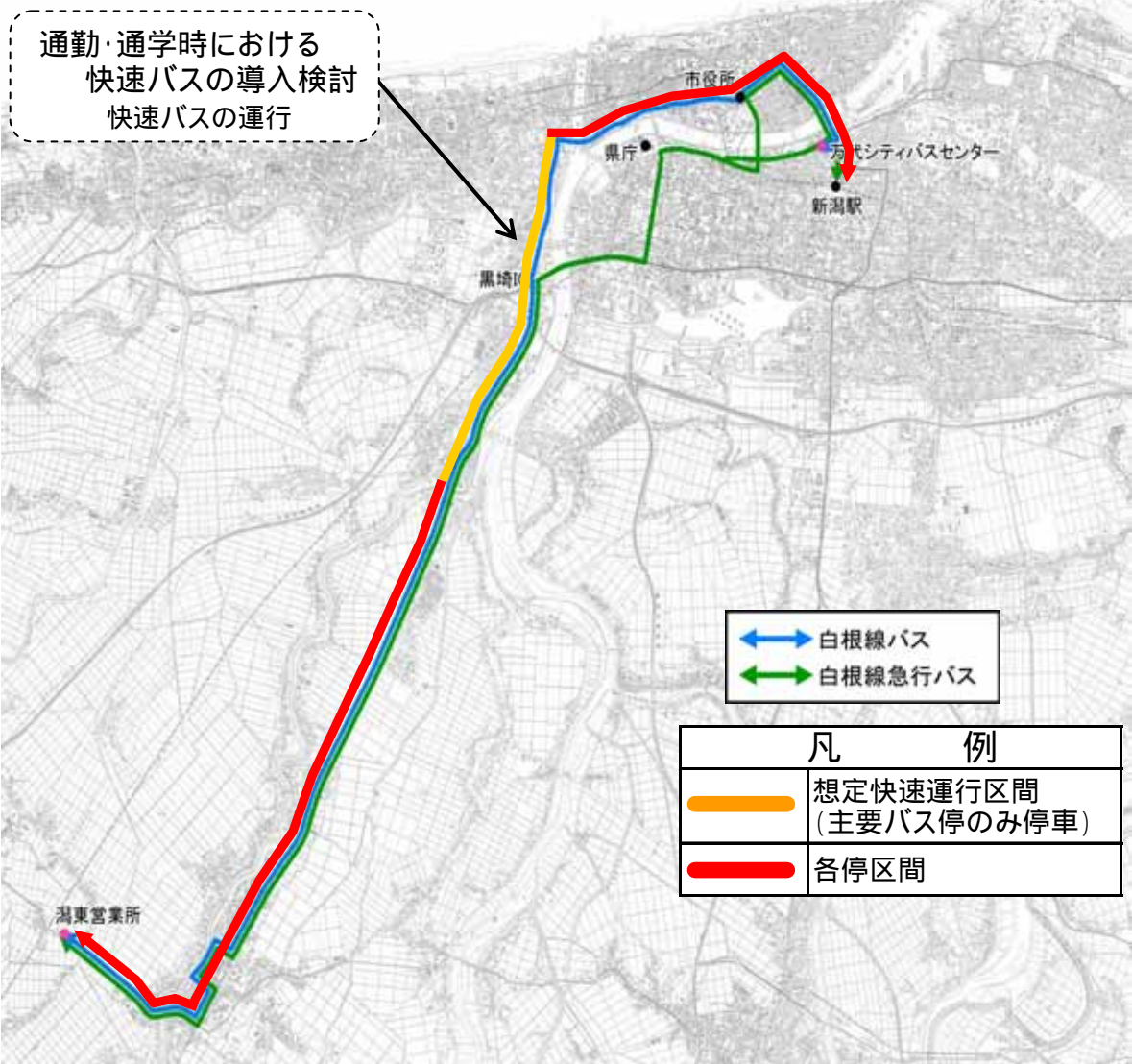
通勤・通学時における快速バスの導入検討

南区から都心部方面に向かう人々の利便性を向上させるため、朝のピーク時間を対象に、黒埼地区のバス停をノンストップで走行する快速バスの運行の導入検討に取り組みます。

〔市内を走行する快速バス〕



〔通勤・通学時における快速バス導入検討イメージ図〕



(2) バス走行性及び利用環境の改善

バス待ち環境の改善

都心方面に向かう特に利用者の多いバス停（大通ニュータウン，横町など）や冬の雨風を防げるバス停上屋のリニューアル，ベンチ，駐輪場の整備（上塩俵・北田中，保坂など）について検討をすすめ，利用者の待合環境の整備を推進します。さらに住宅団地・公共施設・商業施設など（能登，白根健生病院前など）を最短で結んだ利用しやすいバス停配置の再編を行います。

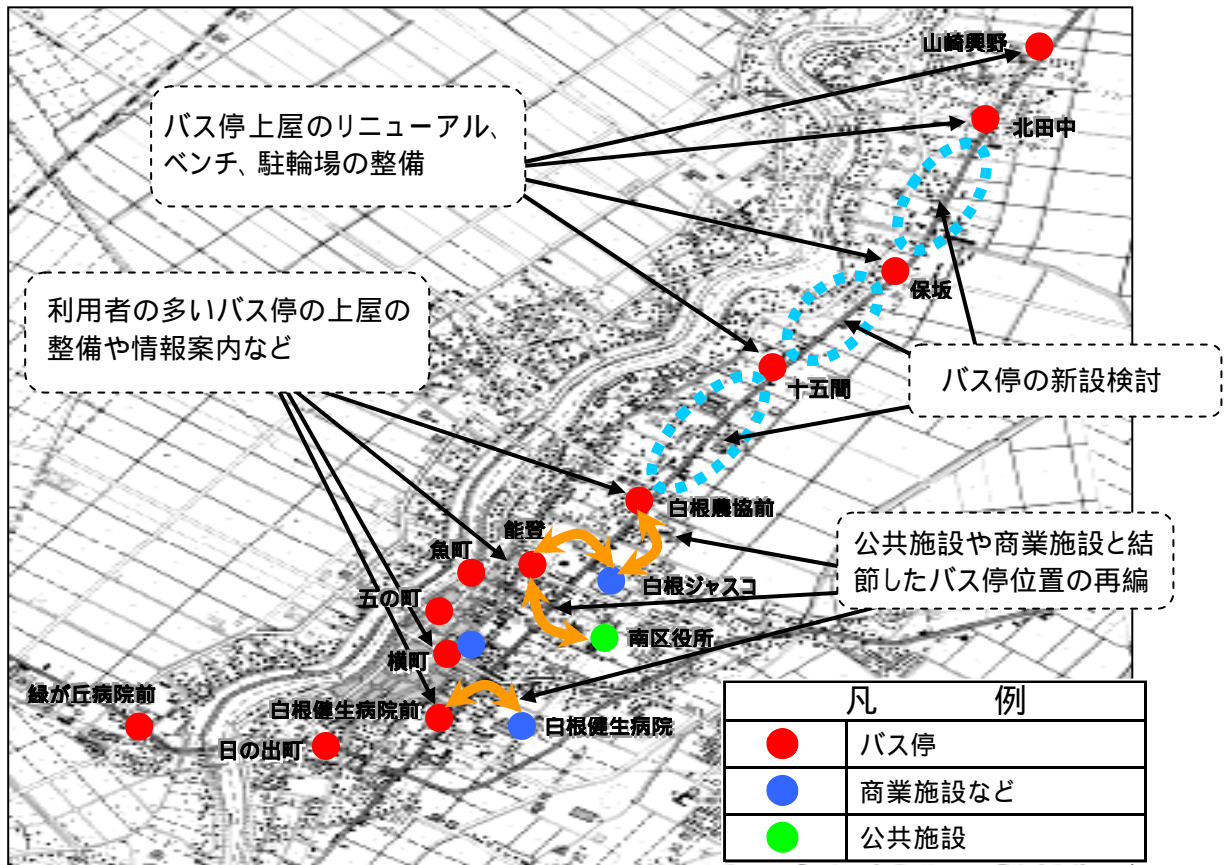
〔上屋の老朽化が進んでいるバス停〕



〔整備された下善久バス停〕



〔バス待ち環境の整備イメージ図〕



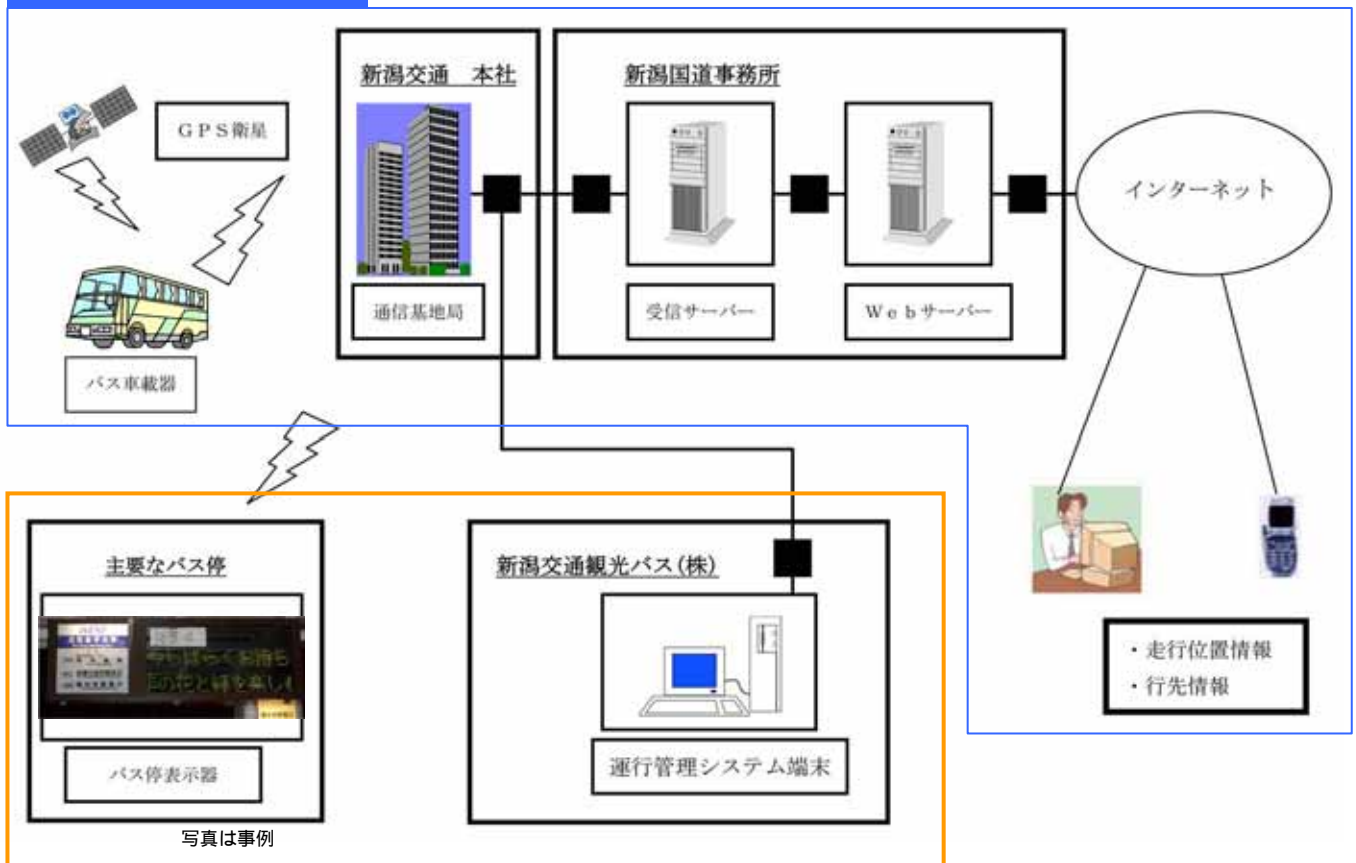
情報提供システムを活用したサービスの向上

バス待ちの不安感などを軽減させるため、現在、白根線急行バスのみで実施している「にいがたバスi」の路線バス車両への普及を図るとともに、主要なバス停におけるバスの接近表示システム導入し、利用者にバス位置情報を提供します。

バス接近表示システムの導入にあたっては、バスiシステムを活用したシステムを試験的に導入し、実用性と汎用性を検証することで、利用者が多い郊外部バス停への新たな導入・展開と運行管理におけるシステム活用方策を検討します。

〔バスiシステムを活用したシステムイメージ〕

今までのバスiシステム



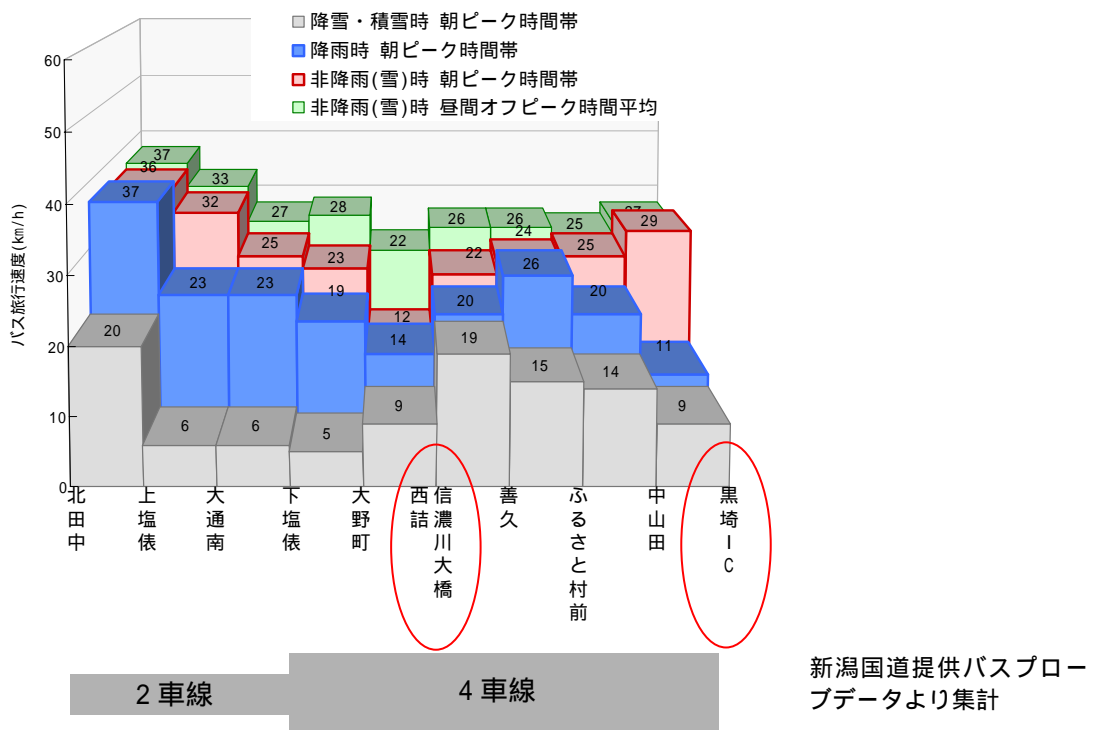
バスiシステムを活用した新たな展開

渋滞区間の改良

バスの走行性や定時性を確保するため、旅行速度の低下が見られる信濃川大橋西詰交差点や大野大橋南詰交差点付近の渋滞緩和に向けて、引き続き関係者に対応策を検討していきます。

さらに現在、黒埼の脳外科病院付近まで整備されている公共車両優先システム（PTPS）の拡充や主要交差点の信号処理の改善について検討を行い、スムーズなバス運行確保を図ります。

〔上り(白根 新潟)方向朝ピーク時間帯(6~9時)における旅行速度〕



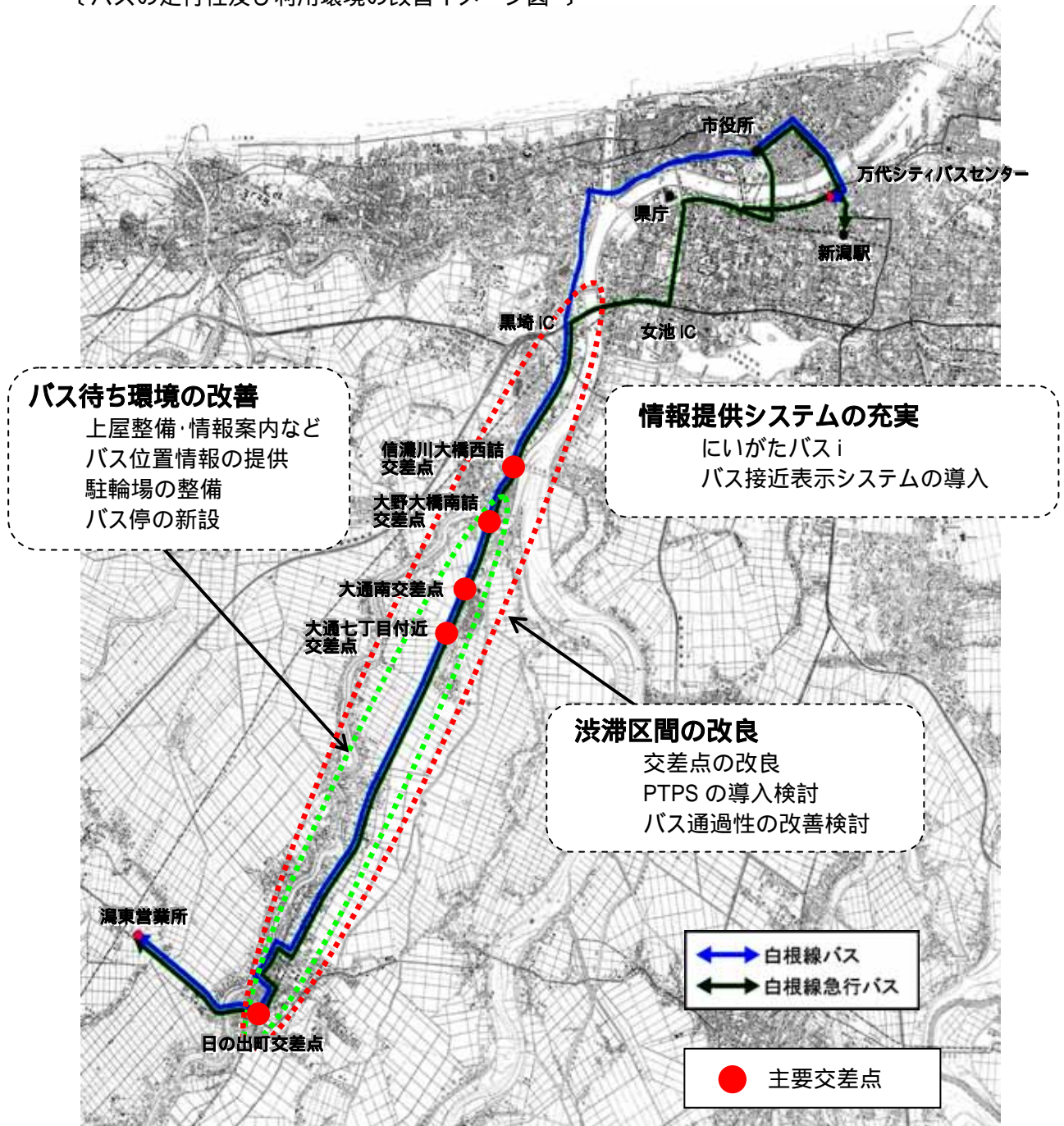
〔路線バスが国道8号の渋滞に巻き込まれている状況(大野大橋付近白根方面)〕



〔信濃川大橋西詰交差点の渋滞状況(朝)〕



〔バスの走行性及び利用環境の改善イメージ図〕



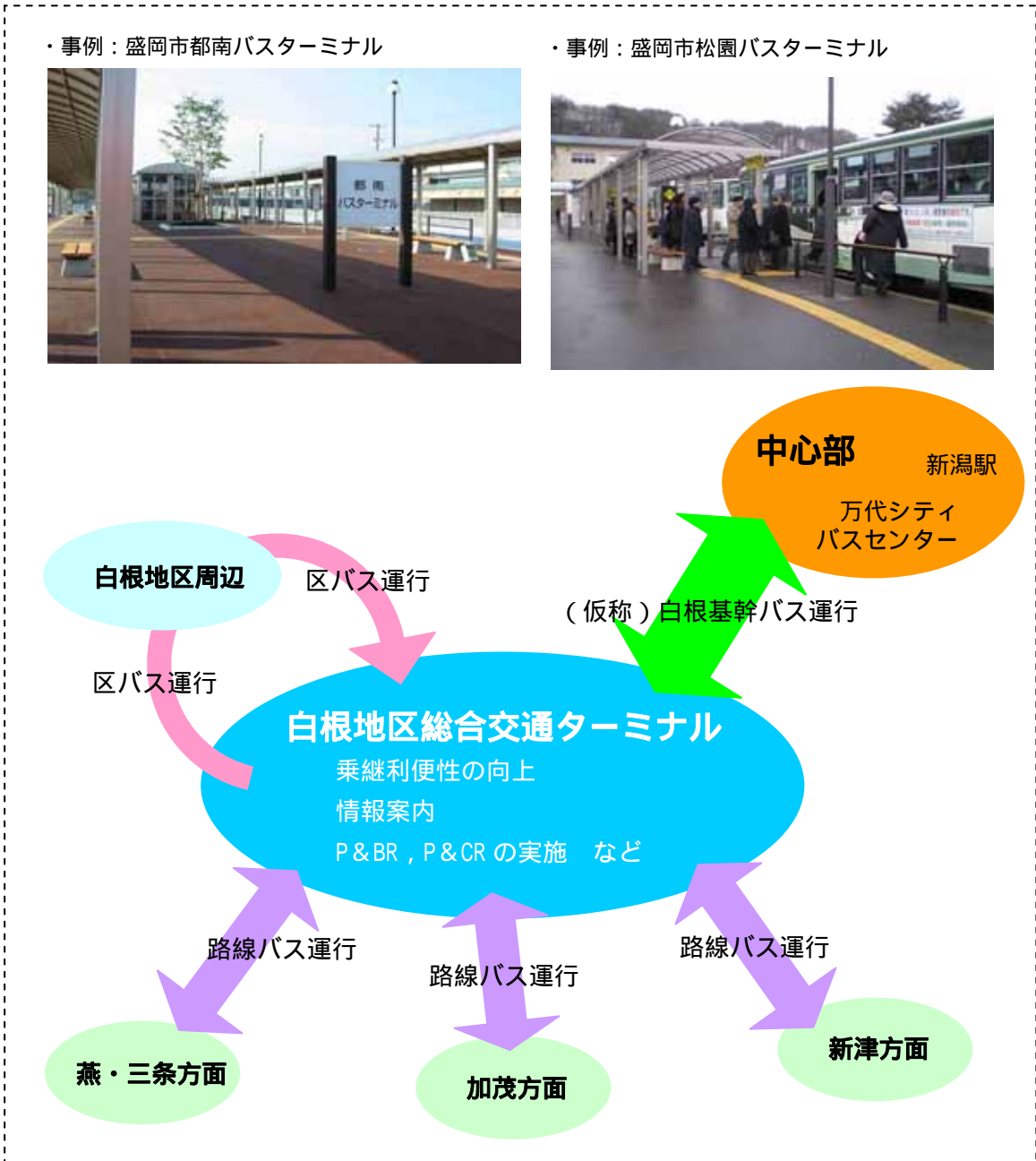
(3) 南区方面におけるバス交通体系の強化・検討

白根地区総合交通ターミナルの導入検討

白根中心部に集中する郊外バス路線と白根方面骨格幹線バスの乗り継ぎ拠点として、南区における分かりやすく利用しやすいバス交通網の構築と鉄道駅に相応する交流拠点として周辺地域のまちづくりを促進する白根地区総合交通ターミナルの導入について検討を行います。

また、P & R 駐車場やバス停の駐輪施設整備、商業施設との連携による待合環境の改善など、バス利用環境の改善に取り組みます。

[白根地区総合交通ターミナルの導入イメージ図]

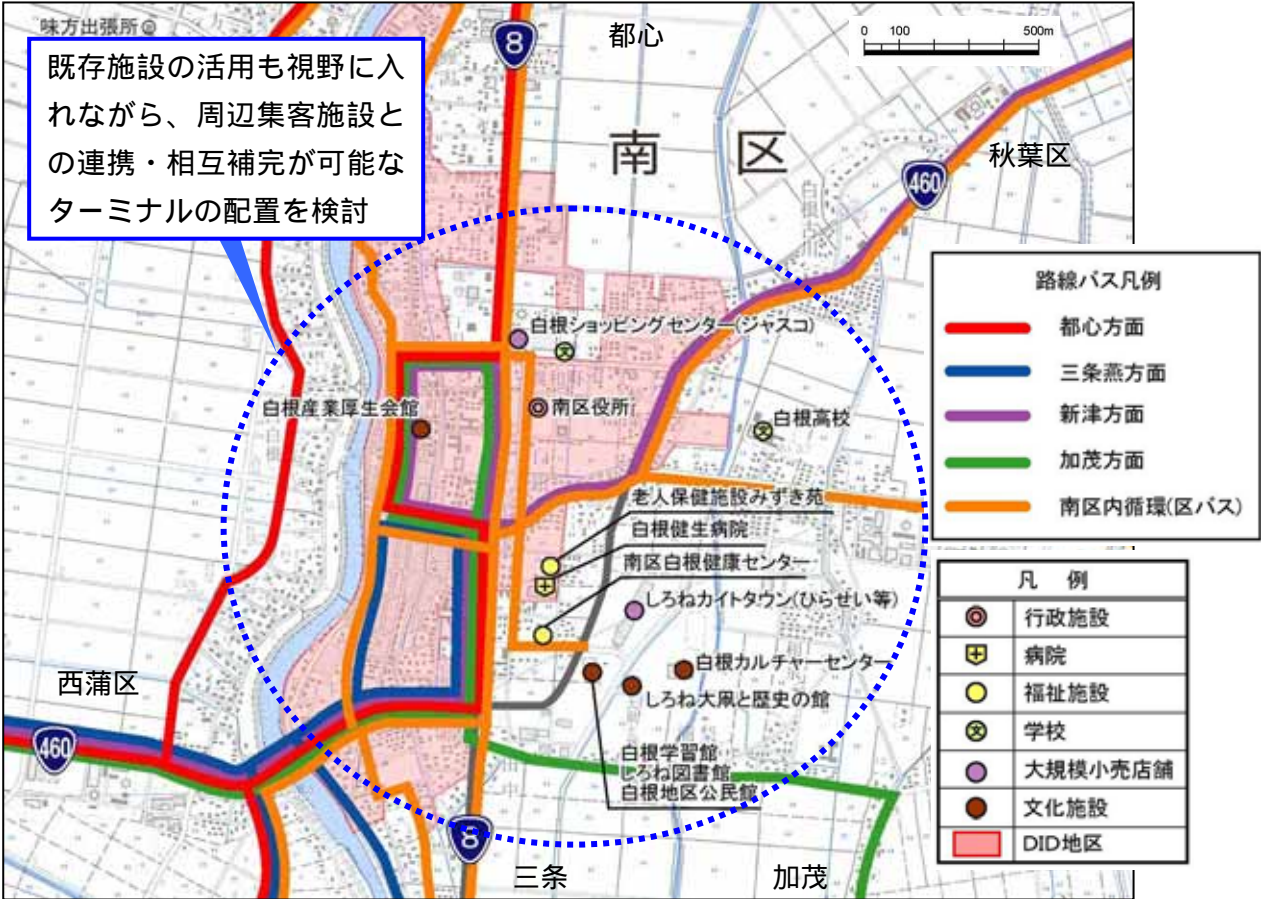


まちなかの賑わい創出に向けたターミナルの多様な活用方策の検討

白根地区総合交通ターミナルの導入検討にあたっては、路線バスや他交通手段との乗り換え利便性向上を図るだけでなく、周辺地域のまちづくりと一体となった検討が必要と考えます。具体的には、地域のコミュニティ活動の拠点としての活用や地域の情報発信、その他集客施設との連携・一体的整備など、多様な活用方策の検討が望めます。

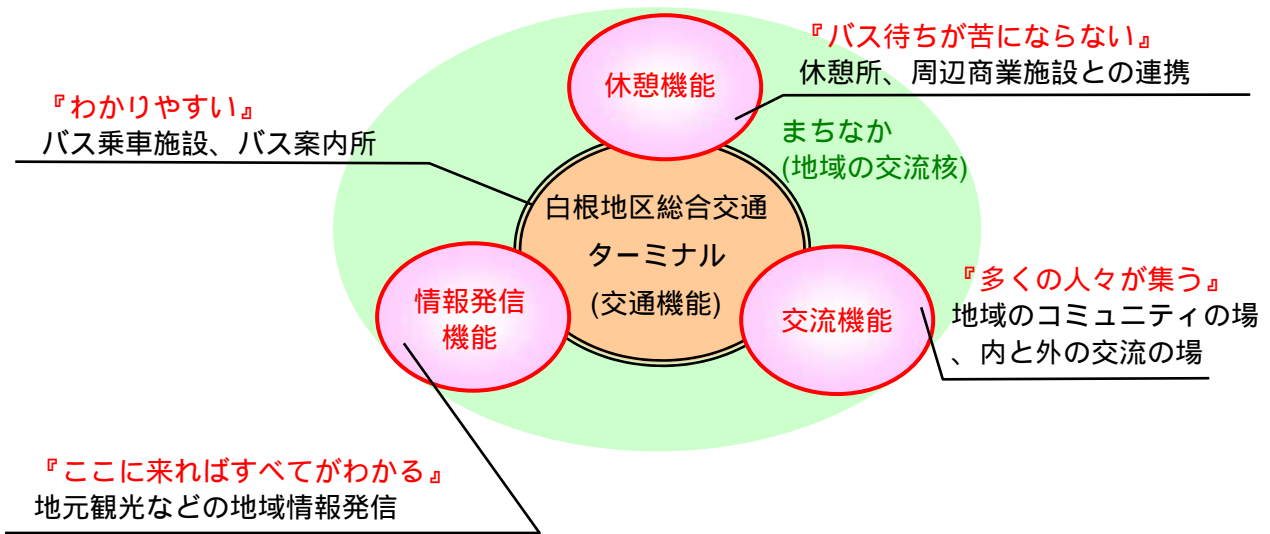
このような考えから、コミュニティ活動の拠点機能がある既存集客施設のターミナル化も視野に入れながら、まちづくりにふさわしいターミナルの配置を検討する必要があります。

〔白根地区中部のバス網と施設の現状〕



大規模小売店舗は5,000m²以上の施設、病院は第2次救命救急医療施設、学校は高等学校を表示

〔ターミナルに求められる“まちなか”の機能連携イメージ〕



〔旧役場庁舎を活用したバスターミナル事例(柏市：沼南庁舎バス乗継場)〕

・バスターミナル平面図

柏市沼南庁舎

・完成後写真

【柏市沼南庁舎整備】
市民交流サロン、こども図書館、郷土資料展示コーナーの整備を予定しており、待合場としての活用が期待されます。

【柏市沼南庁舎バス乗り継ぎ場】

- ・目的
沼南地域における公共交通網の整備促進を図り、市民の移動選択性の向上や運行の効率化を図ることを目的とする。
- ・運用開始：平成 19 年 11 月 23 日～
- ・乗り入れ車両
路線バス(東部バス、阪東バス)、かしわコミュニティバス、かしわ乗合ジャンボタクシー、タクシー
一般車両は乗り入れ原則禁止
- ・乗り入れ時間
8:00～18:00

〔商業施設を活用したバスターミナル事例(八戸市 八戸ラピアバスターミナル)〕

・バスターミナルの位置



南部バス株式会社 HP より

・ショッピングセンター八戸ラピア

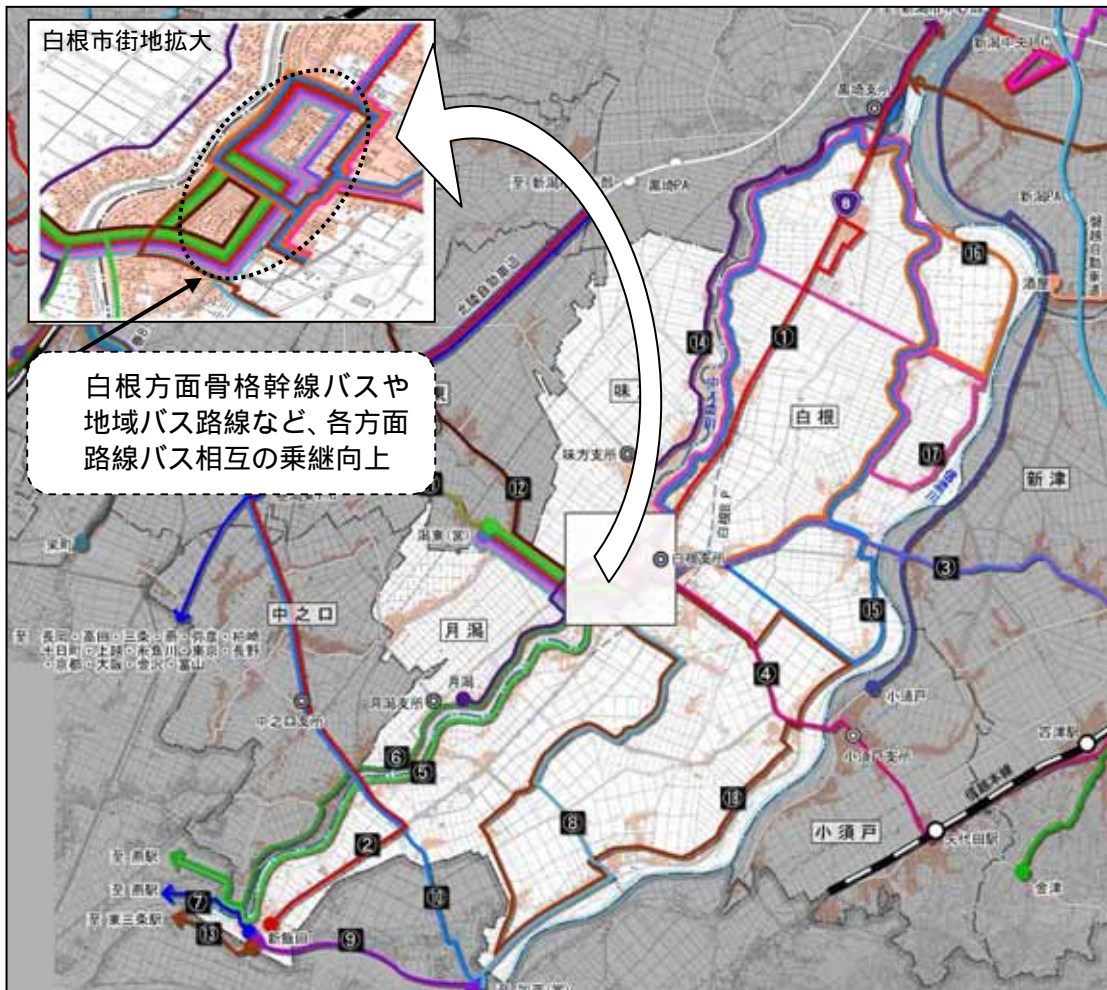


ラピアバスターミナルには市内各所へのバスと高速バスが乗り入れており、待合室と乗車券(定期券、回数券、一日乗車券など)の販売所を備えています。

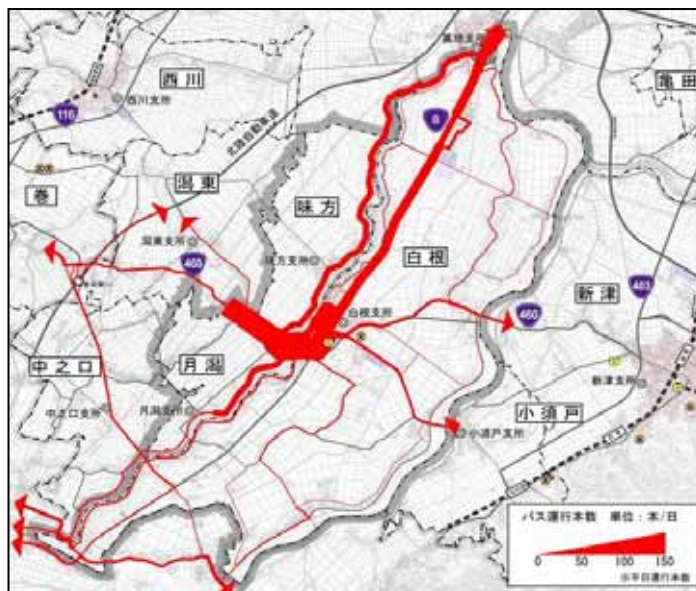
地域バス路線との乗継向上

南区内のバス路線や市が運行する区バス・鉄道駅など各モード間の乗継機能の強化（区バスによる田上駅乗り入れ）連携したダイヤ設定、利用しやすい運賃体系の導入検討により、移動しやすいまちづくりを推進します。

〔新潟市南区の公共交通網〕



〔運行本数〕



(4)(仮称)白根基幹バスの導入検討

高速道路を活用した急行バスなどの運行

冬期の積雪時などにおける市の中心部へ速達性を高めるため、黒埼スマート IC を活用した高速バス社会実験を行い導入効果について検証を進めます。

また、高速バス停へのアクセス確保に向けた検討を進めます。

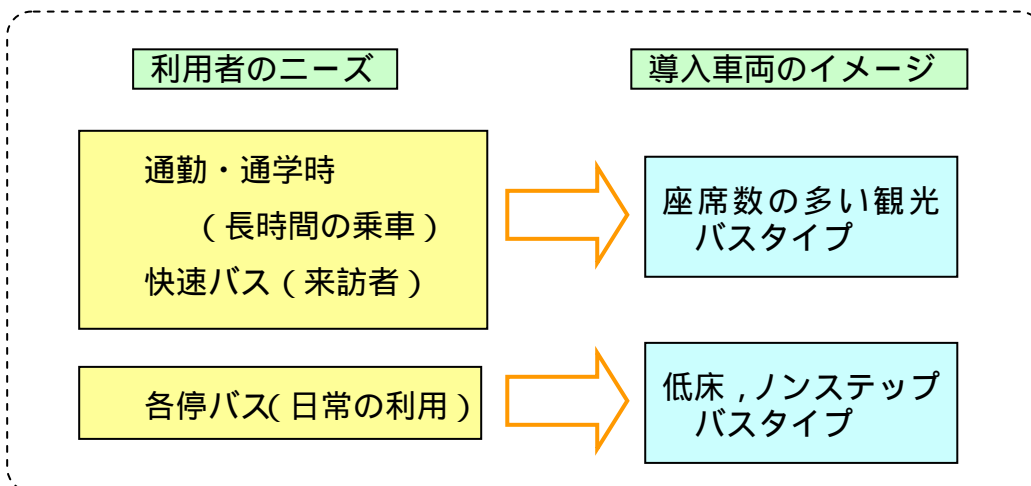
〔高速道路を活用した取り組み案〕



バス車両の更新検討

通勤・通学時におけるバスで過ごす時間の快適性を高めるため、利用者のニーズに対応したバス車両の導入と運行について検討を行います。

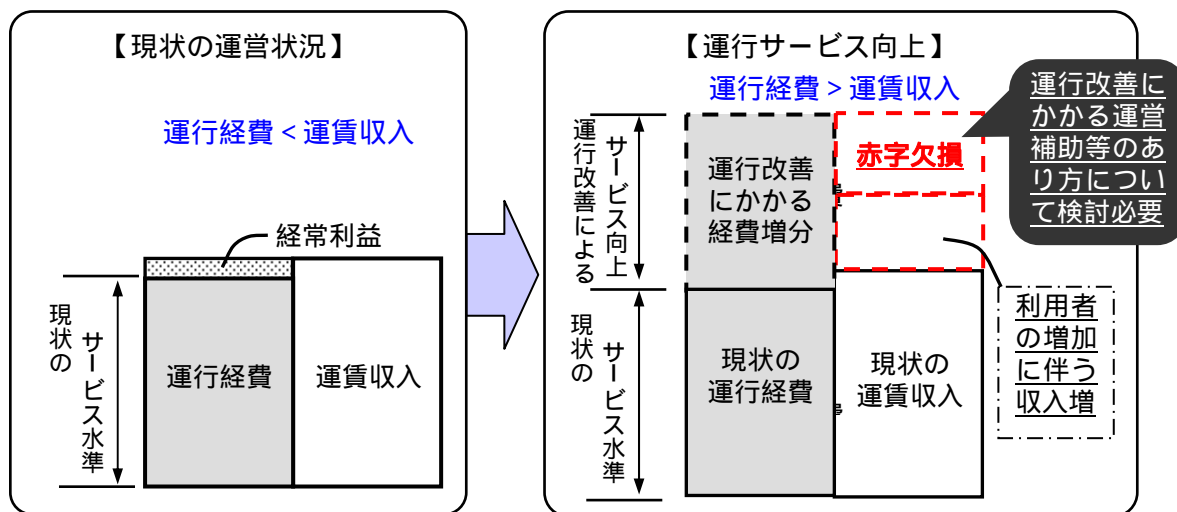
〔バス車両導入イメージ〕



運行本数の増発検討

地方都市における公共交通の維持・活性化に向けた取り組みの重要性を勘案し、運行本数の充実や運賃負担の軽減など、計画から運営・運行にかかわる一連の課題を関係者が一丸となって、利用促進に向けて検討を進めます。

〔運行サービス向上後の運営維持の課題〕



〔官民の役割分担についての検討イメージ〕

	運行計画	施設			運営	運行
		バス等	停留所等	車両		
現状	民間	公共	民間 (公共)	民間	民間	民間

〔参考〕

区バス (運行委託)	公共	公共	公共 (民間)	民間 (民間)	公共	民間 (委託)
住民バス (地元支援)	地元	公共	地元	民間	地元 (運営補助)	民間

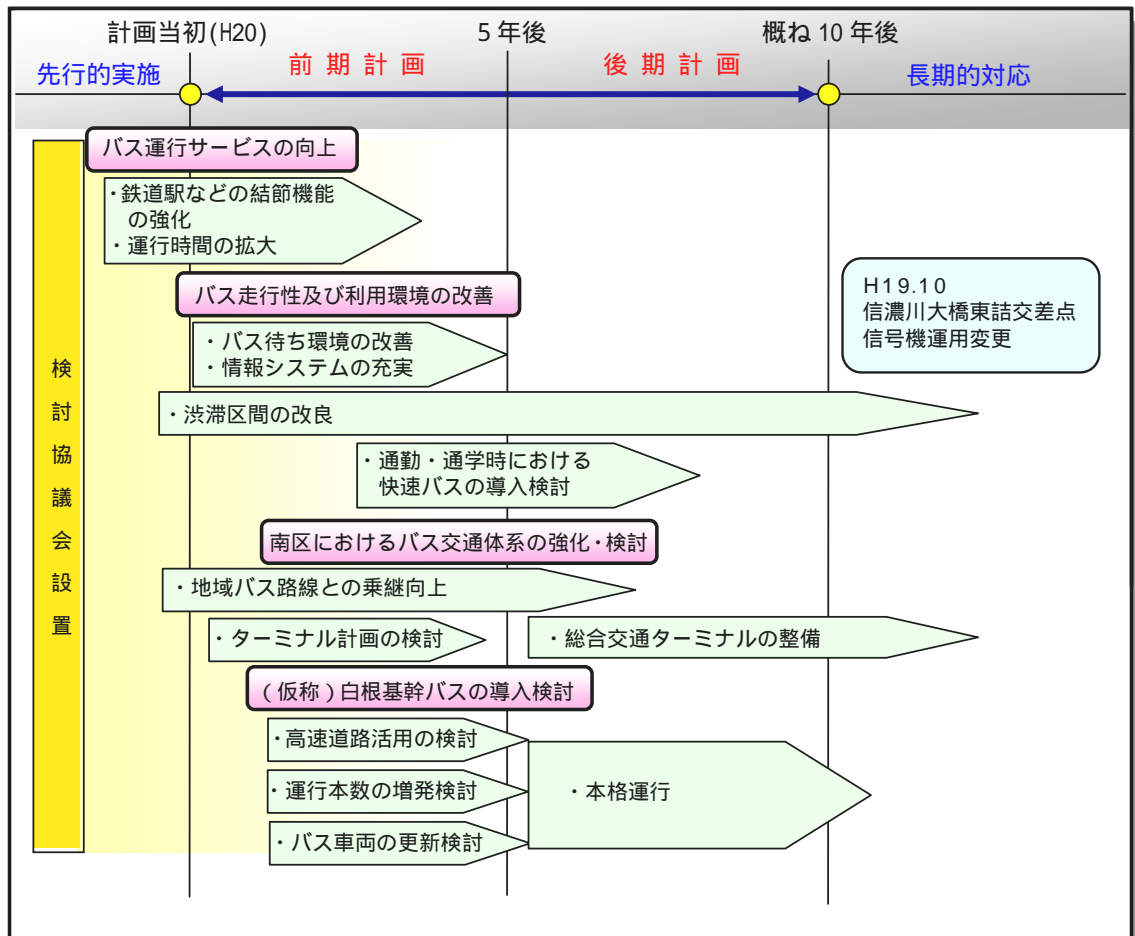
サービス購入型	公共	公共	公共	公共 (貸与)	公共	民間 (委託)
運行サービス 強化型	公民協同	公共	公共	民間 (公共支援)	民間 (運営補助)	民間
環境整備型 (車両まで)	公民協同	公共	公共	民間 (公共支援)	民間	民間
環境整備型 (停留所まで)	公民協同	公共	民間 (公共支援)	民間	民間	民間

(公共): 民間が主体となっているが、公共で行っているものもある

(民間): 公共が主体となっているが、民間で行っているものもある

■ : 公共の関与があるもの

行動計画(案)



【参考】白根方面骨格幹線バスの機能強化に向けた推進体制

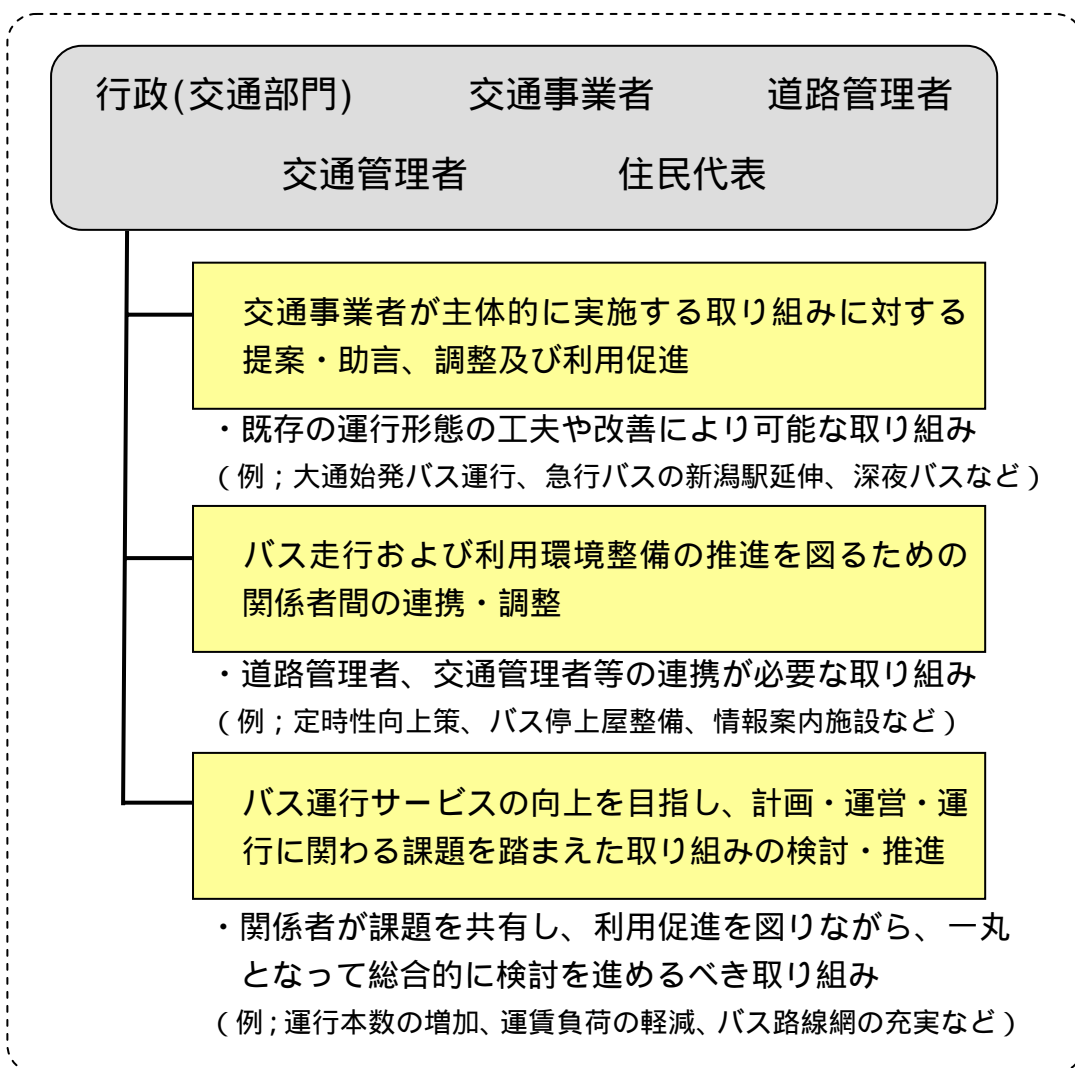
路線バスの機能強化に向けた取り組み方策

路線バスの機能強化に向けた取り組みを総合的かつ一体的に推進していくためには、バス利用者となる住民意向を踏まえながら、交通事業者・道路管理者・交通管理者などの関係者の連携強化が重要となる。

また、運行本数の充実などのバス運行サービスの向上を目指すためには、事業採算性を確保する観点から、利用者を増加させる仕組みや市民の意識啓発なども重要となる。

このため、下記のような検討組織を設置し、機能強化に向けたハード・ソフトの両面からなる施策の調整や、市民の意識啓発などによる利用促進を図りながら、運行サービス向上に向けた課題について、関係者が連携し検討を進める。

〔(仮称)南区方面バス利便性向上施策検討協議会〕



〔バス事業者による利用促進に向けた短期的・段階的施策〕

<u>鉄道駅との結節強化</u>
骨格幹線バス路線を運行する全便の新潟駅への接続（急行バスは実施中）
<u>運行時間帯の拡大</u>
深夜バスの継続と運行時間・本数の拡充（季節運行を実施中）
<u>乗継利便性の向上</u>
骨格幹線バスと他の路線バス、区バスの乗継向上を図るバス停配置の見直し

〔関係者が連携したバス走行および利用環境整備〕

<u>バスロケーションシステムの拡充</u>
にいがたバス i の導入拡大（急行バスは実施中）
<u>定時性向上策の推進</u>
公共車両優先システム[PTPS]の導入拡大 （寺地交差点～千歳大橋西詰交差点 導入済）
バスレーンの導入拡大 （青山道下交差点～新潟第一高校前交差点 導入済）
渋滞区間の改良（信濃川大橋西詰交差点改良など）
<u>バス待ち環境の改善（上屋、ベンチ、情報案内等）の推進</u>
バス停上屋、ベンチ等の整備
バス停配置、運行時刻等の情報案内の充実
<u>交通ターミナル導入を含めたバス結節・連携強化</u>
白根地区総合交通ターミナルの導入検討
P & B R、C & B Rを想定した駐車場・駐輪場整備の検討

〔計画・運営・運行を踏まえた運行サービス改善施策〕

<u>運行本数の充実（運行頻度アップ）</u>
自動車からの転換など利用促進を図りながら、段階的に拡充
<u>運賃負担の軽減</u>
バス相互の乗り継ぎに伴う乗継割引の検討
定期利用者に対する割引拡大
ICカードの導入、ポイント還元などの検討
<u>バス路線相互の乗継強化</u>
他のバス路線や区バス等との乗り継ぎ強化に向けたダイヤ設定
<u>バス路線網・バス停等の再編</u>
より利用しやすいバス環境の創出に向けた検討